

教員名：下司実奈

教員の研究・活動フィールド

場所	期間	研究・活動内容
いるかの部屋	2008年～現在	障害を持つ児童、不登校の児童とその保護者への個別心理相談活動。学生の陪席は困難だが、保護者支援の在り方について心理相談で学んだことをベースに授業で解説する。
神戸聴覚特別支援学校	2009年～現在	兵庫県教委からの委託を受け、定期的な心理相談。学生の陪席は困難だが、保護者支援の在り方について心理相談で学んだことをベースに授業で解説する。
加東市発達サポートセンターはぴあ	2009年～現在	加東市からの委託を受け、はぴあでの心理相談とはぴあ職員との子育て支援。学生の陪席は困難だが、保護者支援の在り方について心理相談で学んだことをベースに授業で解説する。
子育てコラボサロンどーなつ	2019年～現在	子育てに関する保護者向け学習会、専門職向け講演会等を開き、学生の参加を募り直接支援の場を体験してもらう。
手話でお話しよう「ひよこ」	2019年～現在	兵庫県ユニバーサル支援課の委託を受け、兵庫県聴覚障害者協会のスタッフと共に聴覚障害乳幼児とその保護者向けの遊びと手話学習の場を主催。学生の参加を募り、保護者との交流を学んでもらう。
聴覚特別支援学校等	2023年1月～現在	手話アプリ「手で話そう」をIT企業ナナイロと開発し、支援学校幼稚部及び児童発達支援センター（難聴）の保護者を中心に情報提供とQRコードでの申し込み、使用してのアンケートを集計中。保護者支援の在り方について授業で解説する。